※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　看護科

教科	看護科	科目	看護基礎(後期)	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	なし						
副教材等	からだのしくみ事典（成美堂出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護の意義と医療・保健における看護の役割、基本的な態度を理解し、看護を理解するうえで不可欠な人体のしくみについて知識を深めます。外部講師による手話・点字の授業も行います。講義中心で授業を行い、授業態度や筆記テストなどで評価します。

2　学習の到達目標

・人間のからだのしくみを理解し、健康や疾病を全人的に捉えることを理解する。看護の意義と役割を理解し、日常生活の援助に必要な知識と技術を習得する。
・からだのしくみと疾病の関係やその看護について、関連付けて考えることができる
・障がいや疾病を抱えて社会で生活する人との関わりについて考える基本的態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間のからだのしくみを理解できるようにする。 看護の歴史的背景と現状を学び、看護の意義と役割を理解できている。	健康や疾病を全人的に捉えることができるようにする。 からだの各部についての知識から、他への影響の現れ方など関連付けて思考し、予測したものを意見交換ができている。	看護の職業倫理を踏まえて課題を発見し、主体的かつ協働的に解決する力を養う。 看護を行うための基本的態度の育成を図っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	人体の構造と機能	1)人体とその構成 2)器官系の成り立ち、各部の構成と維持	a: 意欲的に取り組めているか b: 人体の構造と機能について統合的に理解しているか	筆記テスト	実習レポート	実習 実技テスト
	看護の意義と役割	1)健康の概念 2)対象となる人間の理解 3)看護の機能と役割	a: 健康や健康の保持増進について考えることができる b: 人間理解を基本とする看護の基本的概念および、保健・医療・福祉における看護の役割が理解できる c: 手話・点字の必要性や基本的なルールが理解できたか、また、意欲的であったか			
	障がいと生活	1)障がいの理解 2)コミュニケーション手段 3)手話・点字の実際				

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度